



徳育科のパイオニア コミュニティ・スクール

# 八小だより

武蔵村山市立第八小学校 平成28年12月1日  
<http://www.city.musashimurayama.lg.jp/school/mmced8s/index.html>

教育目標
◎ 考える子
○ 思いやりのある子
○ やりとげる子
行動目標
わけをそえて話すことができる子
教室で話しているのは一人

## ラオス訪問を終えて

校長 牧 一彦

先日は、季節外れの積雪がありました。12月に入り、いよいよ冬の季節を迎えます。寒さに戸惑う大人たちを尻目に、子供たちは、寒さにも負けず元気いっぱい校庭を走り回っています。

先日の展覧会には、多数の地域・保護者の皆様にお越しいただきました。一人一人の工夫を凝らした力作を多くの方々に見ていただき、とても嬉しく思います。土曜日の午後には、子供がお父さんやお母さん、あるいは御親戚の方に、得意げに自分の作品を紹介する姿が見られ、心が温かくなりました。皆様の御理解と御協力に心より感謝申し上げます。

11月20日(日)から24日(木)までの5日間、ラオスの学校訪問に出かけました。学校だより9月号でもお知らせしましたとおり、「武蔵村山メコンの会」で設立した「チャンヌア小学校武蔵村山分校」の開校式に参加してきました。



チャンヌア小学校武蔵村山分校の前で…

チャンヌア小学校に到着すると、全校児童、保護者、村人たち、先生方、ラオス国サラワン県の役人の方々が総出で私たちを出迎えてくれました。子供たちの笑顔と、「サーバイディ(こんにちは)」と両手を合わせて膝を折って挨拶してくれる姿が印象的でした。

式典では、サラワン県の教育機関の方の挨拶、チャンヌア小学校の校長先生の挨拶、チャンヌア小学校児童代表の言葉などがありました。どれも武蔵村山への心のこもった感謝の言葉で溢れていました。最も大きな改善は、教室数が増えたことで、複式の授業が改善され、それぞれの教室でそれぞれの学年の授業が行えるようになったということだそうです。



鶴田第一小学校長が代表でプレートをお渡ししました

新しく武蔵村山だけの支援で建てたこの新校舎には、「チャンヌア小学校武蔵村山分校」の文字の入ったステンレス製のプレートが設置されました。2年間にわたって、子供たちがお手伝いや我慢することを頑張って貯めたお金が、この学校を建てることに役立ったことが証明されたのです。

サラワン県からは「賞賛状」が贈られました。この文面の結びには「皆様の功績と善行は、サラワン郡の輝かしい歴史に永遠に記録されます。」とありました。大変ありがたいことだと思いました。

今年度も今月中旬からワンコインスクールプロジェクトを継続実施します。チャンヌア小学校の周辺には、まだまだ床が土で、簡単な屋根と囲いだけの学校がたくさんあります。今後どのような支援が適切か検討を重ね、「人の役に立つことの大切さ」、「家のお手伝いや我慢することの尊さを」子供たちに教えるためのこの取り組みを続けていきたいと思っています。今後とも、保護者・地域の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。



校長室で撮った八小の子供たちの写真を手に…